

ラムサール条約の目的に沿った活動

保全再生

湿地はたくさんの動物や植物たちが住んでいるとても大切な場所です。湿地の環境を守り、未来へ引き継いでいくため、中海・宍道湖でもいろいろな取り組みが行われています。

中海・宍道湖一斉清掃

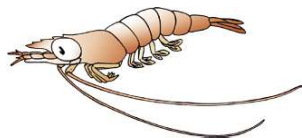
中海と宍道湖では、以前から、湖のまわりの地域で、それぞれに清掃活動が実施されていましたが、ラムサール条約湿地に登録されたことをきっかけとして、鳥取県、島根県、周辺の市、町が地域の人たちと協力し、2006年から、両方の湖で同じ日に一斉に清掃活動を行う「中海・宍道湖一斉清掃」が始まりました。

この一斉清掃は、環境月間である6月の第2日曜日に実施されており、毎年約7,000人が参加する取り組みになりました。湖の豊かな自然環境を守り、未来へ引き継いでいくため、みなさんもぜひ一斉清掃に参加してください。



ヨシの刈り取り

宍道湖には、たくさんのヨシ帯が広がっています。冬になって、枯れたヨシが湖に流れ出てよごれの原因になってしまわないように、地元の企業や団体のみなさんの協力を得て、ボランティアでの刈り取りが行われています。



地域の清掃・美化活動

1年に1回の一斉清掃だけではなく、日ごろから地域の人たちが、自分たちの住んでいる場所やその周辺の清掃活動や美化活動に取り組まれています。



賢明な利用【ワイズユース】

湿地の環境を守りながら、湿地から得られる恵みを持続的に利用していこうという考え方があります。この考え方を英語で「ワイズユース(wise use)」と言います。

ワイズユースの形はいろいろ

おいしい魚や貝がとれたり、水辺で遊んだり、お祭りを楽しんだり、誰もが普段の生活の中で、中海・宍道湖の賢明な利用を行っています。

中海



水辺のコンサート



オープンウォータースイム



海藻刈り

宍道湖



シジミ漁



ハゼ釣り



夕日を眺める

ワイズユースのための取り組み

鳥取・島根両県では、「中海・宍道湖」の保全と賢明な利用を進めるため、両県リレー形式でシンポジウム(ミニ講演会、学習会など)を開催してきました。



学習



体験



発表

